

平成 26 年 11 月 4 日

強風による運転中止となったことを、走行中の列車に対して停止手配が出来なかった事象について

平成 26 年 11 月 3 日 7 時 17 分に抜海駅の風速計で毎秒 30 m 以上の風速を記録したが、宗谷北線運輸営業所指令室の総合防災情報システム（アリス）の表示装置に警報表示はあったものの、警報音が鳴動しなかったため同指令室の指令員が運転中止に気づかず、既に運転中止区間（南稚内～兜沼間）を走行していた稚内 7 時 00 分発 札幌行き 特急スーパー宗谷 2 号に対して停止手配が出来なかったこと、更に、幌延 6 時 30 分発 稚内行き 普通列車も停止手配が出来ず、運転中止始端駅である兜沼発車後に停止させる事象を発生させました。

宗谷北線運輸営業所の社員が総合防災情報システム（アリス）を調査したところ、警報音を鳴動するスピーカーの不具合を発見しました。現在は代替スピーカーにより、警報音が鳴動する状況としております。

なお、スピーカーに不具合が生じた原因につきましては現在調査中です。

また、この事象により当該列車にご乗車のお客様にはお怪我はありません。